

調査業務

1. 公衆トイレのあり方の検討

トイレの実態調査と既設のトイレの要否や適正配置、メンテナンスの適正化を検討し、費用対効果を重視したトイレリニューアル計画を作成します。

2. 山岳地等のトイレ導入の検討

自然地域におけるトイレ整備は、自然環境の保全や利用者の観光地に対する満足度においても非常に重要となります。その場所に適したトイレの導入計画を作成します。

3. 災害時トイレ・衛生対策の検討

避難所での災害時トイレ・し尿処理対策や、公衆トイレを含めた総合的な災害時トイレ対応の検討・見直しを行い、防災トイレ計画を作成します。

4. 共同企画

トイレから健康や教育などにとりくむ社会貢献活動を、共同企画として実施します。

会員募集

※ 詳細は別紙会員登録書をご覧ください。

日本トイレ研究所会員を募集しています。

会員の種類と年会費

(期間は4月1日～3月31日とします。)

| | |
|-------|-------------|
| 個人 | 3,000円/1口 |
| 非営利団体 | 10,000円/1口 |
| 営利団体 | 100,000円/1口 |

会合案内

[アニュアルレポート]

一年間の調査・活動の成果や報告、課題を共有することを目的としてアニュアルレポートを刊行します。

[トイレに、愛を。フォーラム&イベント]

トイレや排泄の大切さを多くの人に伝えることを目的として11月10日(いいトイレの日)に実施します。

[トイレラボ勉強会]

社会的な課題となっているテーマ等に対して、トイレという観点から改善策を探りながら自由に意見交換をして、会員間の親睦をはかります。

組織体制

| | |
|----|--|
| 理事 | 加藤 篤 上 幸雄 原田 雄美 石川 嘉洋 |
| 監事 | 松村 正一 税理士法人グラシア代表社員 |
| 顧問 | 小澤 紀美子 東京学芸大学名誉教授 坂上 恭助 NPO給排水設備研究会会長理事 明治大学理工学部建築学科建築設備研究室教授 神馬 征峰 東京大学大学院国際地域保健学教室教授 辨野 義己 (独)理化学研究所イノベーション推進センター辨野特別研究室 |

アドバイザー

| | |
|-------|--------------------------------|
| 岡城 孝雄 | 岡城技術士事務所所長 |
| 小原真理子 | 前・日本赤十字看護大学教授 |
| 田中 一雄 | (株)GKデザイン機構 相談役 |
| 中野美和子 | さいたま市立病院 小児外科診療部長 |
| 森田 昭 | 一般財団法人日本環境衛生センター総局企画部 JISC 支援室 |
| 吉川 羊子 | 小牧市民病院泌尿器科 排尿ケアセンター部長 |

トイレ向上委員 (各種イベント等運営の応援等)

| | | | |
|--------|---------------------|-------|-----------|
| 今村 愛子 | LCPHホメオパス | 山田 花菜 | 絵本作家 |
| 大瀧 冬子 | デザイナー | 山本 絢子 | フォトグラファー |
| 加藤 啓太郎 | オツデザイン一級建築士事務所 | 山本 勇樹 | (株)Laf la |
| 木下 麻子 | デザイナー | 宥免 達憲 | |
| 桐山 義郎 | (株)INVISIBLE design | | |
| 児玉 美冬 | | | |
| 嶋崎 涼子 | 食育インストラクター | | |
| 杉田 映理 | 東洋大学国際地域学部教授 | | |
| 須藤 ほつみ | hotsumi GALLERY | | |
| 高橋 競 | 東京大学高齢社会総合研究機構 | | |
| 高橋 朋子 | 学生 | | |
| 田中 偉一郎 | アートディレクター | | |
| 並河 進 | コピーライター | | |
| 灰谷 香奈子 | KANA都市・建築計画 | | |
| 福島 多香恵 | チェアロピクス創業者 | | |
| 星野 勝太 | 地方公務員 | | |

活動開始 1985年5月15日
NPO法人設立 2009年10月7日
(2017年4月現在)

日本トイレ研究所

Labo.
JAPAN TOILET LABO.

日本トイレ研究所

トイレの改善・整備は国内外を問わず、人々に快適性や利便性、健康を提供し、地域の安全や地域経済の活性化にも貢献します。さらに生態系に配慮したトイレ・し尿処理を実践することは、地球環境への配慮という観点からも重要です。

日本トイレ研究所は関係機関と連携し、ネットワークを組みながら、トイレの改善をとおして、誰にとっても安全・安心でできる地域社会づくりと健全な地域環境づくりに貢献することを目的として活動します。

公共トイレに関する調査・研究、トイレ教育、トイレ環境の改善に向けた普及啓発を柱にしながら、トイレ環境はどうあるべきかを総合的に研究し、トイレからの社会改善に向けて行動・実践します。また、阪神淡路大震災を契機として、東日本大震災以降に災害時のトイレ問題に本格的に取り組んでいます。

活動方針

1. 子どものトイレ・衛生教育から、健康と健全な生活環境づくりをめざします
2. 公共トイレの進化、トイレビジネスの創出から、安全で住みよい地域社会づくりをめざします
3. し尿資源化や環境配慮型トイレ製品の技術開発により、エコロジー社会の実現をめざします
4. 災害時のトイレ対策を推進し、心身の確保をめざします。
5. トイレ・水環境の改善から、地球温暖化防止、水環境の保全をめざします

所在地

〒105-0004 東京都港区新橋 5-5-1 IMCビル新橋9階
TEL 03-6809-1308 FAX 03-6809-1412
http://www.toilet.or.jp
(JR新橋駅・地下鉄新橋駅烏森口から徒歩7分都営三田線御成門から徒歩7分)